

AG-003: 茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥

【削減方法】

- 茶の栽培において、茶園に硝化抑制剤入りの化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料を施肥し、プロジェクト実施前の肥料施肥量を減らすことで、土壌からのN₂O排出量を削減する。

【適用条件】

- ① プロジェクト実施前に施肥していた石灰窒素以外の窒素含有化学肥料又は有機肥料をジシアンジアミドが混合された化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料に代替すること。
- ② 硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料を施肥する土壌で栽培する作物は茶であること。
- ③ プロジェクト実施前後で、肥料の施肥方法、落葉・剪定枝の管理方法について変更がないこと。
- ④ プロジェクト実施前に平均施肥量について1年間以上のデータがあること

【ベースライン 排出量の考え方】

- 茶園において、硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料ではない、窒素含有化学肥料又は有機肥料を施肥する場合に想定される温室効果ガス排出量。

【主なモニタリング項目】

- プロジェクト実施後に硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料を施肥する面積及び平均施肥量
- プロジェクトで施肥した硝化抑制剤入り化学肥料中又は石灰窒素を含む複合肥料中の窒素量及びジシアンジアミド含有量
- プロジェクト実施前に化学肥料を施肥していた面積及び平均施肥量

【方法論のイメージ】

ベースライン



プロジェクト実施後

